

以上の経過を経て、本定例会に議案として上程しました。

今回の後期基本計画を巡る、大きな社会情勢の変化としては、平成23年3月の「東日本大震災」であり、福島原発事故だと思いません。

この甚大な影響から、再生可能エネルギーが大きく注目されることとなり、我がまちのポテンシャルを最大限生かすため、後期計画においても、その推進に関連する施策を見直しました。

この地域における送電網の整備はもちろん、民間による陸上・洋上での風力発電施設の建設、また、自然エネルギーの地産地消に向け、将来的には、我がまちの風景をも変える計画として、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

### 新規就農者・後継者の状況

本市の農家戸数は、従事者の高齢化や担い手不足などから、ここ10年で13戸減となっており、新たな担い手の確保は喫緊の課題となっておりますが、本年、4年ぶりに3人の新規就農者を迎えることができました。本市の担い手確保対策としては、平成11年度から、一時奨励金等の支援を行ってきています

が、昨年、「稚内市担い手育成総合支援協議会」が中心となり、農業協同組合や農業改良普及センターなどの関係機関とともに支援チームを立ち上げ、営農相談や営農実習のサポート体制を強化したほか、営農実習の補助などを、新規就農者への支援内容をさらに充実させたところです。

併せて、新規就農希望者を対象とした相談会「新・農業人フェア」札幌会場に初めて出展し、本年も、東京、札幌の2会場で、本市農業のPRや就農相談を行いました。

この結果、昨年の新・農業人フェアの相談者で、広島県出身の方が本市での就農に向け、現在、市内農家で営農実習に励んでいるところです。

農業後継者についても、新卒またはUターンにより、この10年間で30人の若者が就農しており、本年も現在のところ4人が親元に帰り、就農しています。

新たな担い手の就農は、農業生産だけでなく、地域の活性化や人口増加に結びつくものであります。今後、新規就農に係る支援制度のPRを行いながら、この地で着実に就農し、営農できるよう関係機関と連携を図りながら、担い手の確保に努めていきます。

### 11月に発生した災害の被害状況

11月8日から10日にかけての「暴風雨」により、9日午後2時から10日正午までの総降雨量が、稚内市開運で87ミリメートル、稚内空港で109ミリメートルを記録し、最大風速は宗谷岬で29.1メートル、稚内空港で22.1メートルを観測しました。

この降雨量は、稚内地方気象台の統計開始以来、11月としては最大値であり、まさに記録的な大雨でした。

この大雨により、はまなす地区の民家で、床上浸水1件が発生し、1世帯2名が一時避難を余儀なくされました。

また、市営球場入口の緑4丁目の市道法面が崩壊し、通行不能となり、さらに崩壊法面に埋設していた水道管が破損し、緑富岡環状線沿いのこまどり、緑地区の住宅で一時的に断水、水圧の低下が発生、さらには、法面崩壊の土砂がクサンル川の一部をせき止め、河川護岸が倒壊しました。

崩壊した道路については、安全確認のため即時通行止めとし、付近の住民の皆さんや通学路として利用している小中・高校に通知しました。



法面の崩壊で通行止めになった市道(緑4丁目)

による、緊急のお知らせを行うとともに、断水等の連絡があった48世帯に対し、緊急対応として、給水袋やポリタンクによる給水を行っております。

それぞれの施設の復旧については、北海道へ「災害報告書」を提出し、協議を進めるとともに応急工事として、ガードレールの撤去や崩壊護岸の破砕、崩壊土砂撤去を実施しましたが、冬期間の本格的な工事は難しいことから、冬期間は通行止めを継続し、本格的な復旧工事は、来春の雪解け後を予定しています。

水道については、日常生活への影響も考慮し、早急に復旧工

なお、関係する町内会に対しては、事故の概況と今後の復旧スケジュールについて、速やかに説明会を実施しました。

また、水道管の破損については、発生後すぐに広報車の巡回

事に着手していましたが、先月29日に工事が完了し、翌30日から通水を開始しています。

このほかの被害としては、大岬小学校の外壁や宝来の市体育館屋根の一部破損、こまどりパークゴルフ場の冠水、稚内中学校前の倒木などが報告されています。

近年、暴風雨のみならず、異常気象による被害が増加しています。

これからは、地域特有の風雪の厳しい時期を迎えますので、市民の皆さんの安全安心な生活を守るため、日常的に災害の防止・軽減に努めるのは当然ですが、今後とも気を緩めることなく防災への取り組みを進めていきます。

## 12月補正予算

一般会計	4億 1,472万 3千円
特別会計	2,684万 1千円
企業会計	6,329万 8千円
<b>補正総額</b>	<b>5億 486万 2千円</b>

※一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額の前年度同期比は、0.7%の減となります。

### 【一般会計補正予算の主な内容】

- ◎総務費…… 3億 980万 1千円
  - ・分散型エネルギーインフラプロジェクト導入可能性調査事業
  - ・市内生活交通路線維持事業
  - ・天北線生活交通路線維持事業
  - ・地域の元気臨時基金積立事業 ほか
- ◎民生費…… 1億 46万 2千円
  - ・生活保護扶助事務 ほか